

一般演題1：多職種連携 11/9（土：第1日目） 13：40～14：30 第2会場 ★1演題あたり9分（発表6分＋質疑応答3分）

演題番号	筆頭演者	演題
O1-1	小澤 美津子	看看連携による在宅環境調整で救急搬送を予防できる
O1-2	宮村 保吉	救急集中治療医の在宅医療介入により寝たきり状態から独歩外来通院まで改善した吸収不良症候群の1例
O1-3	井手 幸太	特定看護師が高浸透圧高血糖症候群に対して在宅で高度な実践を行ったことにより回復した一例
O1-4	前田 俊輔	医療＝介護連携に対しICT・AIを用いた「協力医療機関連携加算」の取り組み
O1-5	丸藤 哲	院内倫理コンサルテーションを地域包括ケアシステムへ

一般演題2：緩和ケア・意志決定支援等 11/9（土：第1日目） 14：30～15：30 第2会場 ★1演題あたり9分（発表6分＋質疑応答3分）

演題番号	筆頭演者	演題
O2-1	安栄 良悟	進行性腫瘍疾患に対する手術から在宅診療までの一貫したケアの経験
O2-2	儀間 義勝	悪性腹水に対してカテーテル留置を施行した症例
O2-3	渡邊 弘樹	慢性過敏性肺炎の終末期に気胸を発症した1例
O2-4	二ノ坂 建史	当院におけるミダゾラム頬粘膜投与例の検討
O2-5	池田 光憲	救急・集中治療における終末期患者を在宅で受け入れる
O2-6	瓜生 悠平	独居高齢者の救急搬送の背景についての検討

一般演題3：BCP関連・災害・新興感染症等 11/10（日：第2日目） 11：00～12：00 第2会場 ★1演題あたり9分（発表6分＋質疑応答3分）

演題番号	筆頭演者	演題
O3-1	諫山 憲司	事業継続計画図上訓練用キットの開発と効果・課題の検討
O3-2	浅野 直	西日本豪雨とコロナ禍で鍛えられるBCP
O3-3	堀 友紀子	訪問看護事業所のBCP作成における課題
O3-4	篠 美和	当院職員の災害に対する意識調査 HuMAとしての能登派遣報告を通して
O3-5	扶蘇 由起	志賀町健康相談ダイヤルプロジェクト - DC-CAT令和6年能登半島地震後の被災者支援に関する活動の一報告 -
O3-6	趙 達来	COVID-19陽性者への外来点滴対応の有用性と必要性について

一般演題4：在宅・施設と救急搬送 11/10（日：第2日目） 13：20～14：20 第2会場 ★1演題あたり9分（発表6分＋質疑応答3分）

演題番号	筆頭演者	演題
O4-1	吉川 徹二	当院に救急入院となった在宅医療を受けている110症例の検討
O4-2	権藤 純子	介護施設職員への救急対応教育を行い不安の軽減を図る取り組み ～初動対応から救急隊への引継ぎまで～
O4-3	松本 孝嗣	当院における救急搬送された在宅医療患者の検討
O4-4	門田 勝彦	在宅医療連携強化のための病院救急車を利用した効率的な患者搬送システムの構築
O4-5	金畑 圭太	蘇生を希望しない終末期患者の心停止に対する救急要請における問題点
O4-6	竹内 理久	病院救急救命士が繋ぐ在宅医療と救急医療